

One and only

安宅陽果

美術・工芸コース

人は誰しも子宮に包まれながら生まれ、棺桶等に包まれてあの世に旅立ち、新しい命へとつながっていく。誰もが同じ子宮から生まれるのに、人は生まれる場所や環境を選ぶことが出来ない。しかし、それぞれの環境で育ち、人とは違う経験や価値観があるからこそ、その人の魅力にもつながるのだろう。そしてそれは過去だけではなく今現在、そして未来でどんな人とつながりを持ち、どんな経験をしているかなどでも変化し、つながっていく。

あなたは他の誰でもない唯一の存在だから今を大切に。



インスタレーション／ジェスマナイト(水性樹脂)、ガラスクロスヤーン／h2000×w1500×d1500mm

Baby with a balloon

牛田春花

美術・工芸コース



彫刻(木材)／楠、水干絵具、水彩絵具、写真転写／h1340×w470mm

ガブリとモググ

宮田かの

美術・工芸コース

好きなものに対して嘘をついたとき、後悔と情けなさが押し寄せてくる。このキャラクターたちは私の好きを詰め込んだ形であると同時に好きなものに向き合えなかった後悔の形でもある。卒業後も好きなものと向き合いながらキャラクターたちを作り続けるため、ずるずると引きずっている後悔と情けなさを晴らすため、この2体のキャラクターを制作した。

作品のタイトルは2体の名前になっている。腕を持っているのがガブリ、頭を持っているのがモググ。名前は漫画内にある食事シーンによく使用される擬音(オノマトペ)の「ガブッ」と「モグモグ」から取って名付けた。

キャラクターの持っている腕と頭は過去の私のもの。好きなものに向き合わなかった過去の自分がガブリとモググに食べられ、消化されることで気持ちの区切りとした。



立体造形(3Dモデリング)/PLAフィラメント、アクリル絵具/h900×w1000×d800mm

その場しのぎのものなんで

浦真斗花

芸術文化学研究科

自転車が盗まれた。あるはずの自転車がなくなって盗まれたと自覚した時、瞬間的に頭にきたものの、すぐに「新しい自転車を買おう」という考えに至っていた。同時に、さっきまで乗っていた自転車に思入れが全くなく、どんなものに対しても消耗品のような感覚になっていた自分に気付かされた。

「物を大事にする」という感覚はどこまで通用するのだろうか。工業製品が御神体やよりしろとして奉られたら、神様の説得力は効果があるのだろうか。盗まれた経験とその時の感情から自身に関わることや身の回りの物、環境や周りの影響が作り上げるイメージへと視点を移し、発想と意味の連想を繰り返して制作した。崇高であってほしい神様が安っぽいことで、一時的な欲求や浅はかな安心感、マジョリティへの従属をあらわした。



インスタレーション／ミクストメディア／サイズ可変

記憶

張り子を用いたインスタレーション

飯塚敦

デザイン工芸コース

このインスタレーションは「変化した」という記憶である。原型は繰り返し型取られることによって変形していった。張り子の像としての残っている物はこの変形した事実の記憶である。

顔面像のモチーフはかつての私の友人である。彼とはある時疎遠になった。大変親しい友人でまるで自分の一部のようなため、はじめはひどい喪失感を感じていた。その喪失感から制作を始めたのがこの作品である。しかし時間が経つと彼への執着は無くなって行った。それと共に作品の持つ意味も変化した。はじめは「彼の葬式」という限定的な意味をなしていたが、次第に「記憶」や「変化」といった意味が変わっていった。繰り返し同じ作業を繰り返すことで張り子の技術も上がった。

私たちの周りにある様々な「変化」を反映した作品として鑑賞者に映ると幸いだ。



インスタレーション／楮紙・でんぶん糊／h150×w2870×d4510mm

輝きを疑って

池田好花

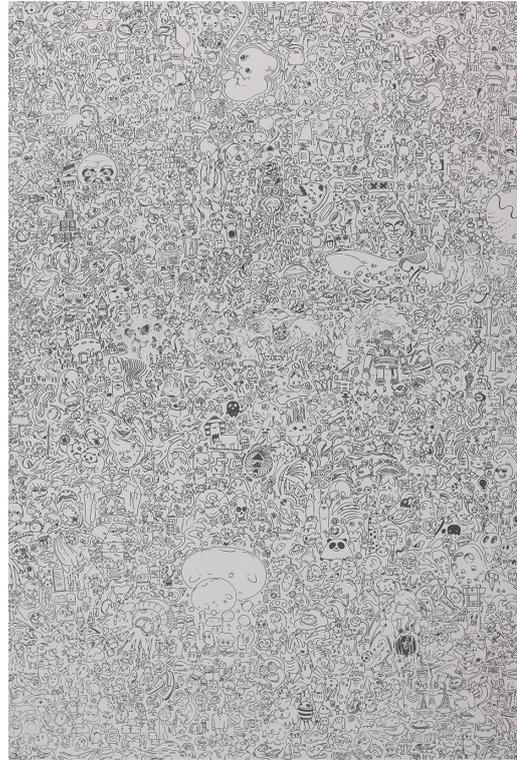
造形芸術コース



絵画／アクリル絵具、キャンバス／h1818×w2273mm

「描く喜び」

中島新
造形芸術コース



平面造形／パネル張り、ハイマッキー／h1940×w1303mm

開花

民秋彩乃

デザイン工芸コース



塑像／ミクストメディア／石膏、コンクリート、プラ板、針金、ビーズ、鉄／h535×w210×d260mm

追憶

三浦栄一郎

デザイン工芸コース



立体造形／石膏、塑造／h2065×w308×d255mm

存在の痕跡・「旅」

張文濤

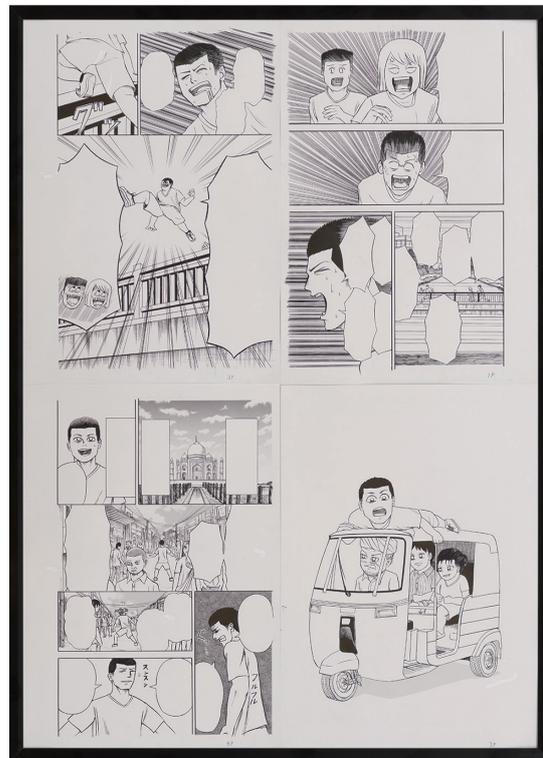
芸術文化科学研究科



インスタレーション／ダンボール、木箱など／h1100×w3000×d3000mm

ハンドルをやや右に

土井翔平
造形芸術コース



漫画／原稿用紙、インク、トーン／B4版、pp.48

Mindarium

森田結香

造形芸術コース

現実には重く苦しく押し掛かる。
希望という名の灯はあまりに眩しくて、
手を伸ばすことすら叶わない。
それでもこの世から逃げることは許され
ない。
だから、心の中に作り上げた最後の
砦に籠ろう。
この世から逃げ出さないように、現実
から逃げてしまおう。



立体造形／3Dスキャン、3Dモデリング、3Dプリント／h1550×w550×d550mm

思い描く -Trace-

3D造形物による光と陰の描写表現について

若林有那

デザイン情報コース

『記憶』

写真に写すほどでもない何でもない
思い出や、無意識のうちに何気なく
頭に残っている記憶

もう鮮明に思い出すことはできないけ
れど確か誰かと一緒にそこに居たと
いう思い出

そのおぼろげな記憶状態を3Dという
新しいツールで形にした。



立体造形／3Dモデリング・編集ソフト-Zbrush 3Dスキャン-Artec 3Dスキャナー Eva 3Dプリント-積層造形